

c 作業療法を主とする上肢機能訓練

③ ①②両者に対して

a 呼吸機能療法

b 家庭指導、ADL介護指導、装具交付手続き等の指導

6) 職員、医師1名、理学療法士又は作業療法士1名、看護婦1名が定員として認められたが当院では作業療法士は欠員のままで開始され、看護婦は中材勤務者が兼務しDケアの時間帯のみその看護にあたり、その他看護助手が専門に1名配属されている。

7) Dケアの実態

原則として成人患者を対象として扱うとされていたが、小児の受診、通院が多い。3月と8月に患者数の多いのは学校が休暇中のため受診数が増加したものである。

次に地域的に受診者をみると県内受診者が圧倒的に多く71名となっている。続いて茨城県6名栃木県4名、東京2名、千葉、神奈川それぞれ1名となっている。

患者通院時の移送状況は自家用車であるが、県内ものは電車利用もみられる。

〔おわりに〕

昨年9月に新しく理学療法棟が設立され、専門のDケア診察室も設置されたので、今後各在宅患者の病状や生活の背景を掌握し、Dケアの看護の充実をはかって行きたいと考えている。

## 27. 冬期における登校下校時に着用する上衣の工夫

国立療養所医王病院

中山 緑 立道 一子

他若竹病棟スタッフ一同

〔はじめに〕

機能低下に伴う体の変形により、衣服着脱の自立困難な子が殆んどで、冬期は通学路に暖房設備がない為、登下校時にはカーディガンを着用しているが、ボタンをかけたり、袖を通したりで時間を要し、子供達も着用する事が煩わしく嫌う為、容易に着脱出来るケープ様のものを試作して見たので報告する。

1. カーディガン着用児の問題点

着用時、下着やセーターの袖が上にあがりねじれるため、着用に手数と時間を要し、殆んど

の子が袖を首に巻き前で結び登校する。

## 2. 冬期における通学路の気温

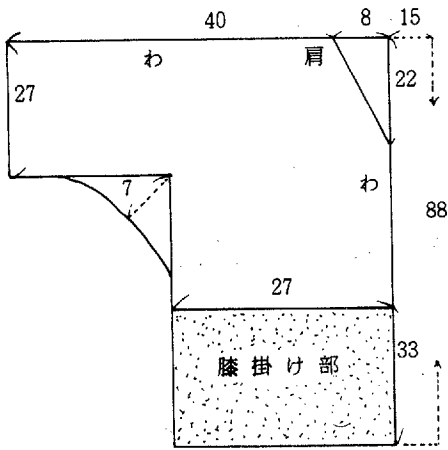
その日に依り変動はあるが、冬期は病棟、学校内との気温の差が大きく、特に健康面での配慮が必要である。雪の日は3℃～5℃、晴れている日でも7℃～8℃、時間別にみると午前9時は4℃、正午は7℃、午後2時は10℃である。

## 3. ステージ別に見た通学所要時間

通学路は全長71mあり、歩行児及歩行器歩行児8～13分、車椅子自立児6～8分、車椅子介助児2～3分、電動車児6～7分を要し一見短時間の様であるが、子供達には結構長い道の程の様である。

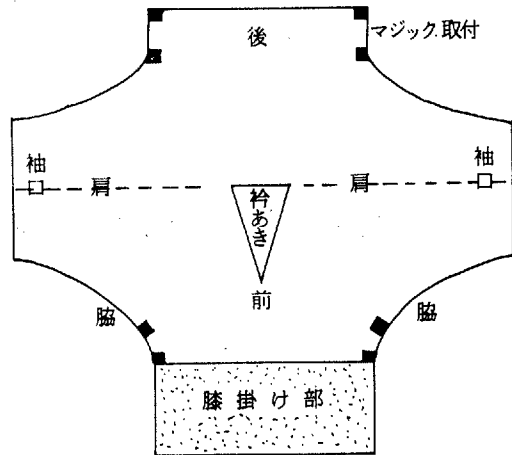
以上の様な問題点と調査を基にケープの作成に当り、その条件として、1.軽くて暖いもの、2.洗濯の効くもの、3.美観のあるもの、3.着易く着せ易いもの、5.ボタンのないもの、として検討を重ね、生地は伸縮の効くジャージを使用し、デザインは直線裁ちで袖と脇は縫い合さず、マジックで左右各1～2ヶ所固定出来る様にした。図1、図2を参照。

図1



注 (数字はセンチメートル)

図2



前身頃は後身頃より長くして保温の目的で車椅子用膝掛けになる様に工夫し、袖はタイヤに擦れるので6分袖に、衿はすっきり見せるためVネックとし歩行児用は、前後の身頃丈を同寸法にした。写真1、写真2を参照。

## 【むすび】

ケープの試作に当り、着用時抵抗のない様にと願い、デザイン色等にも特に留意し仕あげて見た。試作のものを使用しているが、頭からすっぽりかぶり脇を止めるだけなので、着用時の手数

写真1 車椅子児着用



写真2 歩行児着用



も省け、保温の目的にもかなった様であるが、まだまだ完全なものではないので、今後工夫を加えてより効果的な上衣に仕あげていきたい。

## 28 「ビーチボール使用による睡眠中の体位の考察」

国立療養所川棚病院

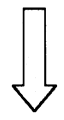
辻 純子 松田 善洋

### 〔はじめに〕

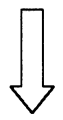
ジストロフィー症の患児は障害度がすすむにつれ、独りで寝返りすら出来ず、夜間の体位変換の介助の回数が多くなっている。なかには昼間の疲れで体位変換の訴えもなく、同一の体位で睡眠している患児等、様々な就寝状態を観ている。そこでこれ等の苦痛を軽減する目的で就寝時、ビーチボールを使用し、若干の成果を上げたのでここに報告する。

### 〔対象及び方法〕

対象者はステージ6～8度で夜間体位変換の介助を必要とする患児を、ビーチボール使用者（表-1）群10～18才10名、コントロールとして12才～19才10名を選出、52年1月～10月の期間、



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



〔はじめに〕

機能低下に伴う体の変形により、衣服着脱の自立困難な子が殆んどで、冬期は通学路に暖房設備がない為、登下校時にはカーディガンを着用しているが、ボタンをかけたたり、袖を通したりで時間を要し、子供達も着用する事が煩わしく嫌う為、容易に着脱出来るケープ様のものを試作して見たので報告する。